

平成の桃源郷 小川作小屋村づくり事業

自治体情報 宮崎県西米良村
人口 / 1,250人 標準財政規模 / 1,357百万円

担当課 総務企画課
電話番号 直通 0983-36-1111
実施主体 西米良村、小川作小屋村運営協議会
関連ホームページ <http://www.ogawa-sakugoya.com/>

事業期間 平成18年度から平成23年度まで
関係施策分類 ②、③、⑥

予算関連データ

総事業費：12,388千円

名称	所管	金額(千円)
元気のいい地域づくり総合支援事業	宮崎県	32,590
過疎債	総務省	33,900
一般財源	-	53,898

施策のポイント

自立自走の集落経営を目指し、自らの活動で得た収益の一部を景観づくり事業など地域の活性化に向けた新たな事業財源として充てるなど、集落単位の取り組みとしては先進的であり、地産地消の商品提供による収益活動が好結果を得ている。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

西米良村で「自立した集落経営モデル事業」として「平成の桃源郷 小川作小屋村づくり」事業を企画し、村内で最も高齢化率の高かった（当時70%超）小川集落を対象に小川自治公民館組織の役員を中心に平成19年に検討委員会を設立、当地区の自立した集落運営に向けた研修や勉強会、ワークショップなどを重ね、平成21年に協議会を設立し、現在に至る。

2. 取組の具体的内容

集落拠点施設「おがわ作小屋村」運営では、平均年齢65歳の集落内のおばちゃんたちが中心となって、食堂やコテージを運営している。集落内で生産された季節ごとの食材を16枚の小皿にちりばめた創作田舎料理「おがわ四季御膳」を提供している。集落内の資源を活用したイベントの実施では、山菜の販売などを行う「カリコボーズの山菜まつり」、月明かりとかがり火で神楽を楽しむ「月の神楽」を開催している。おがわ花見山づくり事業では、福島県の「花見山」をモデルに、景観づくりとして施設周辺を中心に桜や桃を始めとする花木の植樹活動を行っている。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

地域の特性・資源を活用した商品等を開発・提供し、地域の新たな雇用の場の創出を図り、早期の自立自走の施設運営を目指す。将来を見通した景観づくり、景観保全に取り組み、既存施設の稼働率向上や交流人口の拡大を目指し、初年度計画は総売り上げ1,900万円を目指した。

4. 現在までの実績・成果

集落を訪れる交流人口が格段に増加し、それに伴う住民の集落活性化に対する機運の高まりや自信が生まれるとともに、集落内の経済波及効果も大きくなっている。「おがわ作小屋村」の運営に伴い、21年度の実績で約900万円、22年度で約1,400万円、23年度で約1,600万円が集落内に還元されている。さらに平成22年度にUターン者1名、平成24年度にIターン者2名を採用するなど、現在60世帯、90名の集落であるが、地域に雇用の場の確保や、年金プラスの収入の確保などの効果が生まれている。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

村外の意見、アイデアを積極的に取り入れるのも特徴の一つで、イベント等に集落出身者が参加し、大学生の地域づくりフィールドとして活用するほか、建設コンサルタンツ協会九州支部と連携し地域の資源を探るイベントを実施するなど、様々な機関やボランティアとともに連携して事業を実施している。

6. 今後の課題と展開

集落民協働による「おがわ作小屋村」の運営を中心に食と人がつなげる、作り上げる交流を大切にしながら、身の丈に合ったイベントや取り組みを丁寧かつ着実に作り上げ、UIターン者の雇用の場として、また自立した集落運営の拠点として、10年後、50年後、100年後も集落が守り継がれるような取り組みを展開していく。